

富山の課題をデジタルで解決する**実証実験プロジェクト**を実施！

【デジボックとやま】

Digi-PoC **TOYAMA**

ウェルビーイングな世界を切り拓く



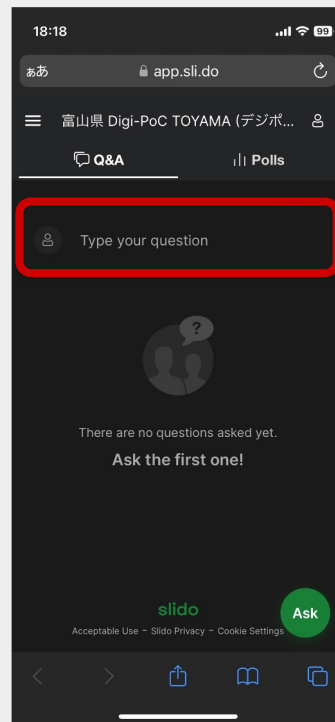
富山県



北陸銀行

ReLic

本日の説明会では、質問はSlidoで受付します。
QRコードから登録不要で質問可能ですので、ぜひご利用下さい。



質問をご記載下さい。



以降は、右上のQRコードから
質問を常時受付致します。



本日のアジェンダ



本日のイベントは全体2時間の構成となっております。
オンラインの方は17:03の中締め時に終了致します。

- 16:00- 開式
- 16:02- 知事からのメッセージ
- 16:05- 「Digi-PoC TOYAMA」 概要説明
- 16:10- 各担当者によるテーマピッチ
- 16:45- Q&A
- 16:53- 中締め
- 16:55- 県・市職員とのミートアップ
- 17:55 会の終了



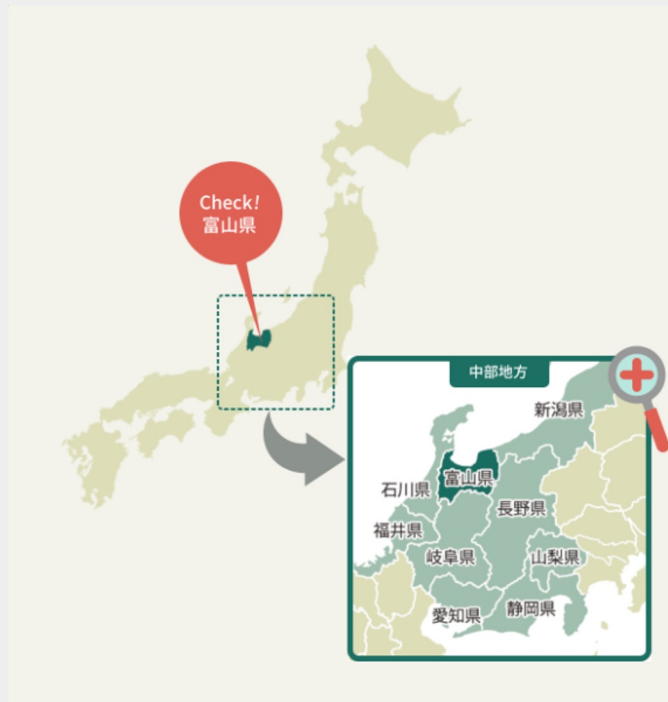
知事からのメッセージ



Digi-PoC TOYAMA概要説明



富山県は10市4町1村で構成される県です。



富山県の基本データ



県庁所在地 富山市

市町村数 15 (10市4町1村)

人口 1,002,090人(2024年3月1日現在)

平均気温 16.1度 (2023年)

面積 4,247.54km (2023年9月現在)

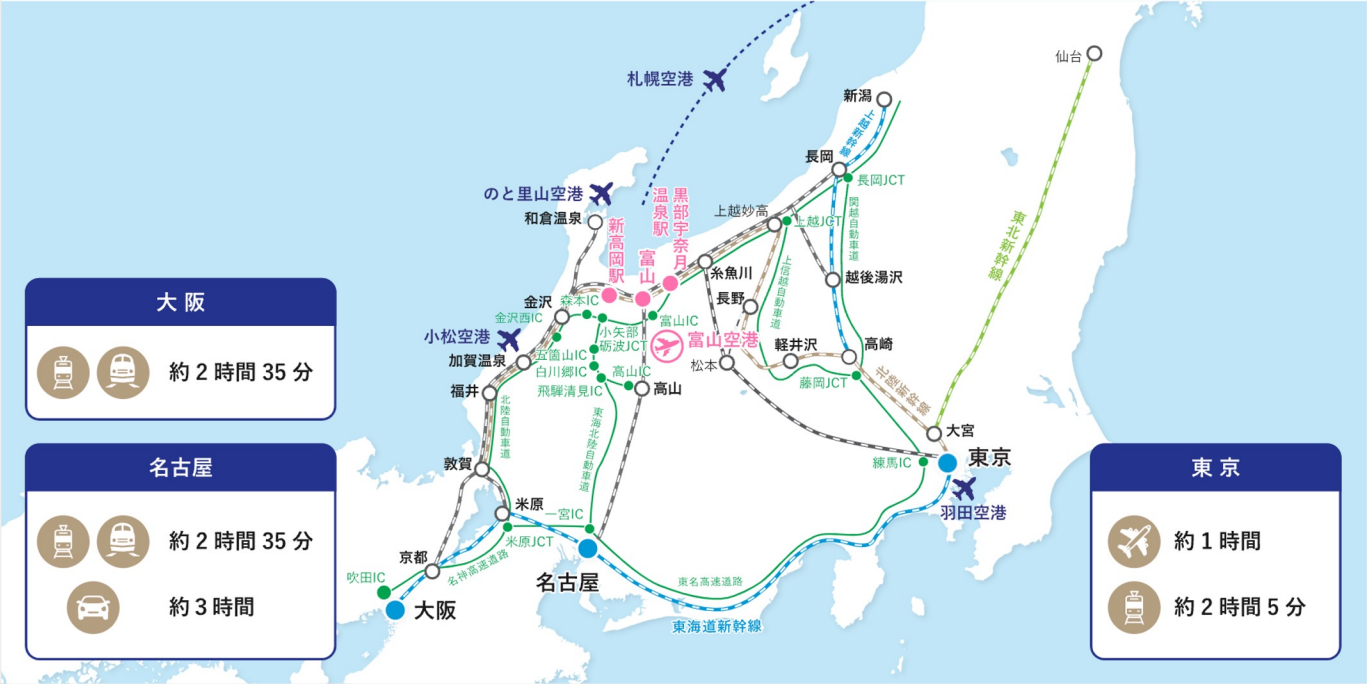
富山県章 (県のシンボルマーク)



昭和63年(1988年)12月27日制定。富山県のシンボルでもある立山をモチーフに、その中央にとやまのイニシャル「と」を配しています。大空に向かって躍進する富山県をイメージしています。



三大都市圏からのアクセスも抜群で、東西双方に行き来しやすい立地条件です。

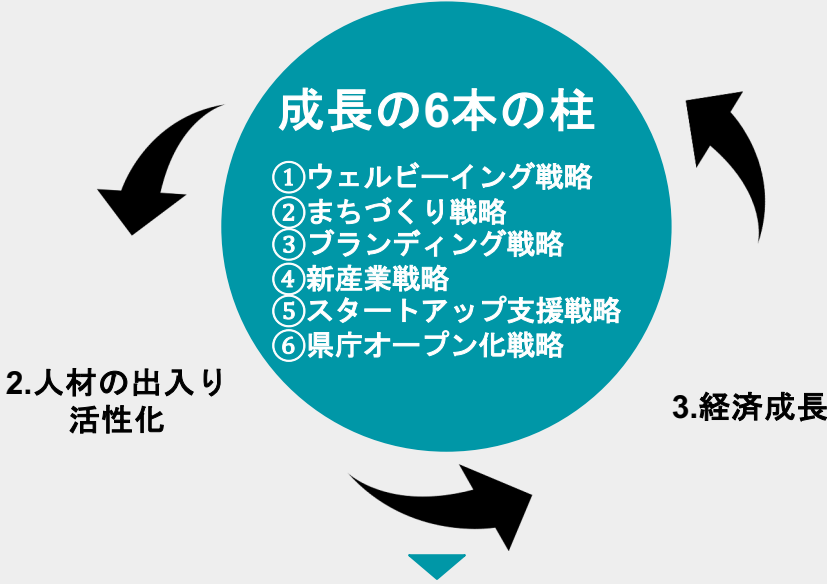




本県では、人口減少・少子高齢化が進む中、新しい富山県のさらなる発展に向け、令和4年2月に「富山県成長戦略」を策定しました。

成長戦略のビジョン
「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けた好循環を創出

1.ウェルビーイングの向上

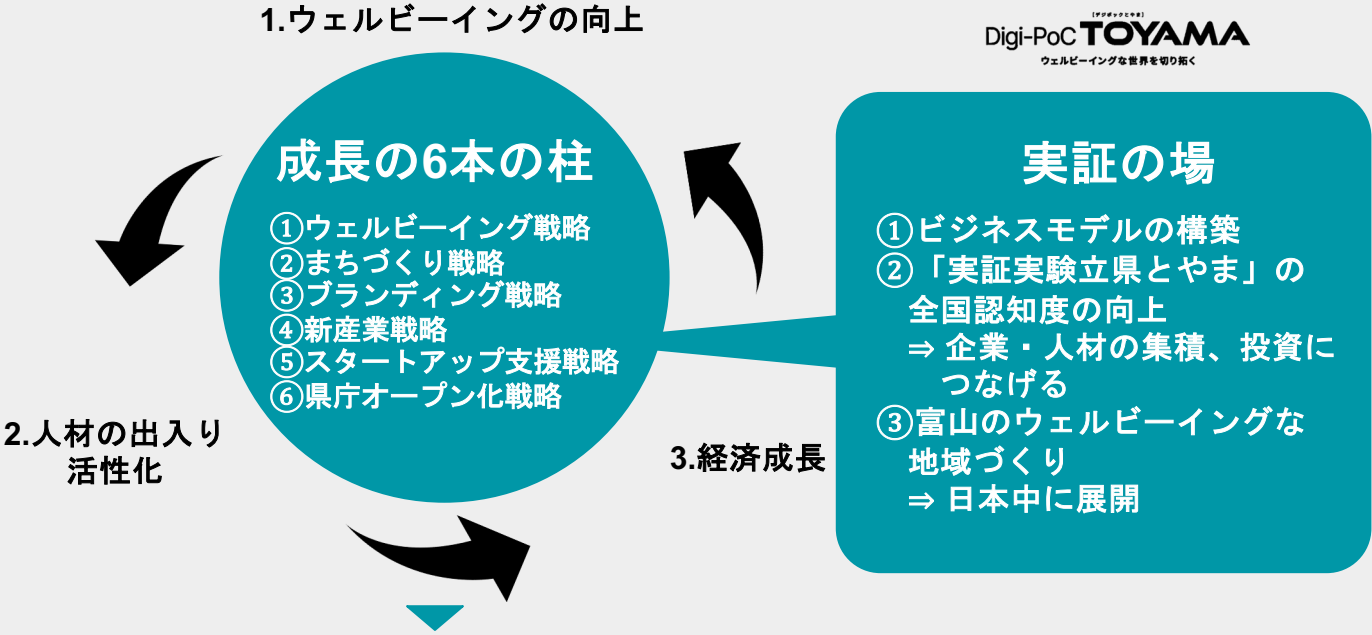


「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築



令和4年度から、県民のウェルビーイング向上の実現を図るため、先進のデジタル技術を活用して地域課題を解決する実証実験をDigi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）実証実験プロジェクトとして推進しています。

成長戦略のビジョン
「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けた好循環を創出



「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築



これまで、富山県が抱える様々な地域課題をデジタルソリューションで解決し、社会実装につなげています。
昨年度までの実証内容や成果は特設サイトに全て公開しておりますのでぜひご一読ください。

2022年度実証実験レポート



2022/05/17
【地域課題解決プロジェクト】中山間地域の課題をプラットフォームで解決 地域個人農士の助け合いでウェルビーイングの向上をめざす

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【イベント情報】「Digi-PoC TOYAMA(デジポックとやま)」実証実験プロジェクト事業者交流会

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【株式会社TRUSTDOCK】「デジタル身分証」が導き出すスマートな世界 サービスを利用する間にも提供する側にもやさしいデジタル社会に向けて

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【株式会社IoT7P】中小製造業におけるデジタルツインを用いた データ活用人材の育成事業

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【株式会社キッチハイヴ】好きなときに、好きなところに住める人生を。今回の実証実験は、そのファーストステップ

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【株式会社KETELE】「ITの力」で地域を越えた事業連携を支援 社会課題の解決に導くビジネスのカチ

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【INTTコミュニケーションズ株式会社】ペビータックで子育てを支援 画一的なものから、選択性を増やし先に応える世界

[詳細を見る](#)



2022/05/17
【株式会社トラフィックブレイン】県内企業のDX推進の鍵は「富山県出身のIT産業人材」デジタルプラットフォームを活用し、最適な人材マッチングを実現

[詳細を見る](#)

2023年度実証実験レポート



2023/12/26
「Digi-PoC TOYAMA(デジポックとやま)」実証実験プロジェクト 事業者交流会

[詳細を見る](#)



2023/08/17
特別支援教育における、ロボットを活用したソーシャルスキルトレーニング(三輪建設株式会社)

[詳細を見る](#)



2023/08/15
一日でも早く「あたり前のくらし」を取り戻すために、「富山県産産量データ解析技術で被災農家の食料問題を解消する」(山崎建設株式会社)

[詳細を見る](#)



2023/08/15
富山県のものづくり企業3社の共通課題の解決に向けて、行動分析などのDXソリューションを導入(富士通Japan株式会社)

[詳細を見る](#)



2023/08/14
駐車場の空き状況をAIカメラでセンシング、センザIoTで、人の不安を解消(株式会社センサーズ・アンド・ワークス)

[詳細を見る](#)



2023/08/14
【株式会社フォーバル】DXの力で地方企業の経営の可視化と改善を目指す「DX経営」の伴走支援

[詳細を見る](#)



2023/08/14
富山県のバス運行問題にITで切り込む、バスロケーションデータの活用でダイヤを最適化(株式会社トラフィックブレイン)

[詳細を見る](#)



2023/08/14
公共施設の点検・メンテナンス作業の効率化を後押しするDXサービスを提供(スバイテック株式会社)

[詳細を見る](#)



2023/08/14
業務のDX化が促す、スマートなコミュニケーションと幸福な社会(株式会社インテック)

[詳細を見る](#)



今年が3年目の本施策。
本県における産業・地域社会のDXをさらに推進するため、
アップデートした内容をお伝えします。

富山の課題をデジタルで解決する実証実験プロジェクトを実施！

【デジボックとやま】

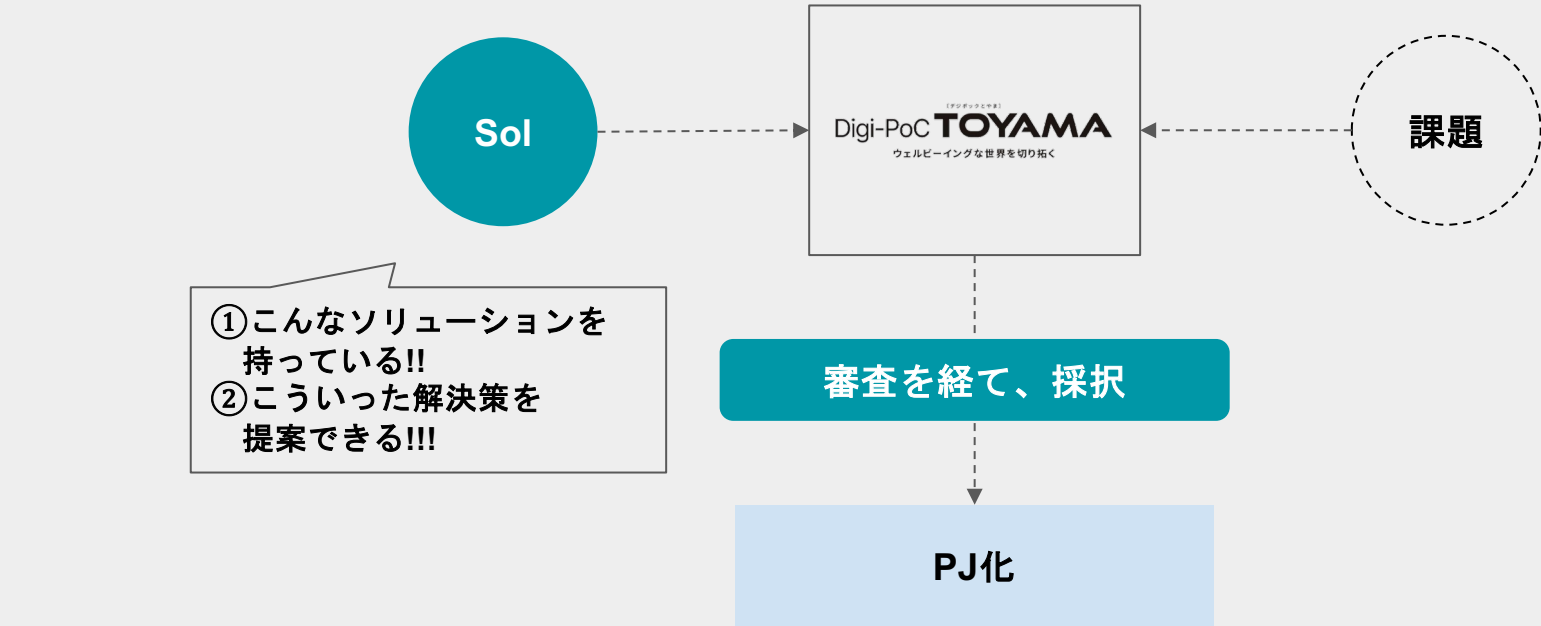
Digi-PoC TOYAMA

ウェルビーイングな世界を切り拓く

 富山県  北陸銀行 ReLic



今回の募集では、
設定された課題解決に資するソリューション(Sol)を持つ企業を公募します。





富山県というフィールドを存分に活用して実証実験とその先の実証費用を支援するために最大2,000万円の実証費用を支援するための仕組みを構築しております。

最大2,000万円の実証費用を支援

Aコース500万円 4 件程度、Bコース2,000万円 1 件程度



ビジネスモデルを
具現化

実証実験にかかる費用を
業務委託として経費として
上限まで10/10交付！
新たなビジネスモデル検討の原資に。



富山との
関係性構築

県内企業等との連携をサポート！
地方進出、拠点づくりの足掛かりに。



自社ビジネスの
認知拡大

実施された実証実験はサイトでの
発信をはじめ、富山県がPR！



富山県および市町村の抱える課題を厳選して設定しております。
一緒に解決に向かって取り組んで参りましょう。

テーマ名

解決したい課題

1

災害時における避難者の情報管理

・発災時の避難所において、迅速な避難者情報等の把握が困難

2

災害備蓄品の管理

・発災時における
災害備蓄品の必要数の把握、配分と配送の円滑化

3

関係人口の創出・繋がり深化

・関係人口と富山県の接点となる総括的な
デジタルツールがなく、県の施策を相互に連携させ、
関係人口の創出・繋がり進化につなげる取組が不足

4

誰一人取り残されない情報伝達サービス

・スマホ等を持たない世帯への情報伝達がネック

5

感染症患者への対応

・未知の感染症が発生した際の病院内における医療従事者や
民間サービス事業者が安全安心に働ける環境の確保

6

農業の担い手確保

・農業の経営の効率化・安定化
・魅力開発・発信による担い手確保

7

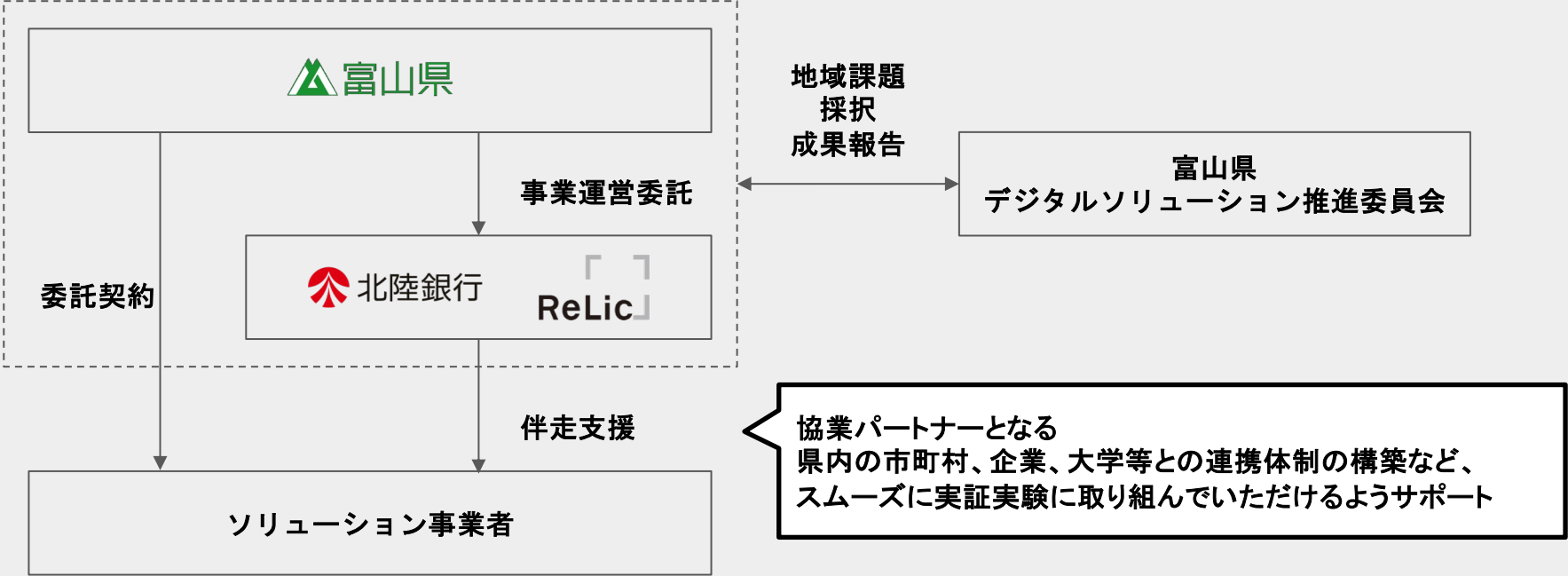
「寿司といえば、富山」ブランディング

・寿司のポテンシャルを活かして、
宿泊者の観光消費額につなげる

この後各担当者から
ピッチをします!!



運営受託事業者である 北陸銀行・Relic がソリューション事業者を伴走支援する体制を構築。
伴走支援では関係者とのマッチングや実証実験の調整支援および、
事業開発に対するメンタリングを想定しております。





北陸銀行は富山県に根付いた支援が可能であり、
Relicは多数の実証実験への伴走支援実績がある会社です。

富山県に寄りそう地域密着銀行

新規事業開発やイノベーション創出を支援する事業共創カンパニー



自治体、取引先等のリレーションを活用

専門的なノウハウとシステムの提供

富山県

ノウハウ

システム

預金シェア

貸出金シェア

メインバンク調査

取引先社数

4,000 社以上

業界業種問わず大手からベンチャー・スタートアップまで幅広いトップクラスの取引実績

クライアント/パートナー/導入企業の継続率

98 %以上

高い満足度と中長期的なお付き合いの取引実績

国内シェア

No.1

イノベーションマネジメントPFとして導入社数/利用者数第一位

導入者数

2,000 社以上

利用者数

50,000 人以上

大企業からベンチャー/スタートアップ企業まで様々な業種の新規事業開発において導入・利用

第**1**位

第**1**位

第**1**位



3つの構成要素から応募資料を作成ください。

	応募フォーム	実証実験イメージ図	実証に関わる3カ年の事業計画
イメージ			
ポイント	17項目+右記2項目の資料にて評価 テキストで言語化されていることに期待	フリーフォーマットで記載可能 検証ポイントの明確化に期待	フリーフォーマットで記載可能 社会実装を想像できるような計画に期待



締切までは約1ヶ月です。
ぜひ、奮ってご応募ください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 2024年5月17日(金) | 公募開始 |
| 2024年5月23日(木) | 説明会@富山県 |
| 2024年6月3日(月) | 説明会@東京都 |
| 2024年6月20日(木) | 応募締切 |
| 2024年6月下旬 | 書類審査 |
| 2024年7月上旬 | ピッチ審査 |
| 2024年7月中旬 | 採択企業の決定（採択通知） |
| 2024年7月下旬 | 契約実施、実証実験開始 |
| 2025年2月下旬 | 実証実験終了 |
| 2025年3月以降（予定） | 成果報告会開催 |





ぜひ、奮ってご応募ください。

<https://digi-poc-toyama.jp/>





今回のDigi-PoC TOYAMAでは比較的緩い段階の課題発掘からマッチングまで支援する座組も合わせて構想中です。近日公開予定です。

各提案をコミュニティ化

こんなソリューションがあるんだけど...



こんな課題があるんだけど...



ヒアリング

提案

提案

ヒアリング

状況に応じたハンズオン支援



xx地域の課題ホルダーとのマッチング支援できます。

実証場所を紹介できます。

xxという制度を利用できるかもしれません。

Digi-PoCの座組で実証してみましょう。



各担当者によるテーマピッチ



①災害時における避難者の情報管理 ②災害備蓄品の管理

射水市

令和6年能登半島地震での経験に基づく課題

財務管理部 防災・資産管理課
課長 高橋 秀和

富山県 いみず 射水市 ってどんなところ？

南北に10.9km、東西16.6kmのコンパクトな市です。海と山の両方を持つため、漁港や富山新港を中心とした工場、田畑など、地形を活かした産業が多数存在します。



2005年11月、歴史や地形がそれぞれ異なる1市3町1村が合併し、地域性豊かな「射水市」となりました。

2015年3月に北陸新幹線が開業し、富山・東京間は最短2時間8分で行き来ができるようになり、首都圏へのアクセスが大変良くなりました。



射水市 内川

人口 90,997人

世帯数 37,072世帯

R5.12.31現在

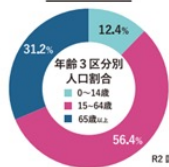
1世帯あたりの人数

射水市 2.63人

富山県 2.5人 全国 2.21人

R2 国勢調査

人口



R2 国勢調査

在住外国人数

富山市 8,444人

高岡市 4,022人

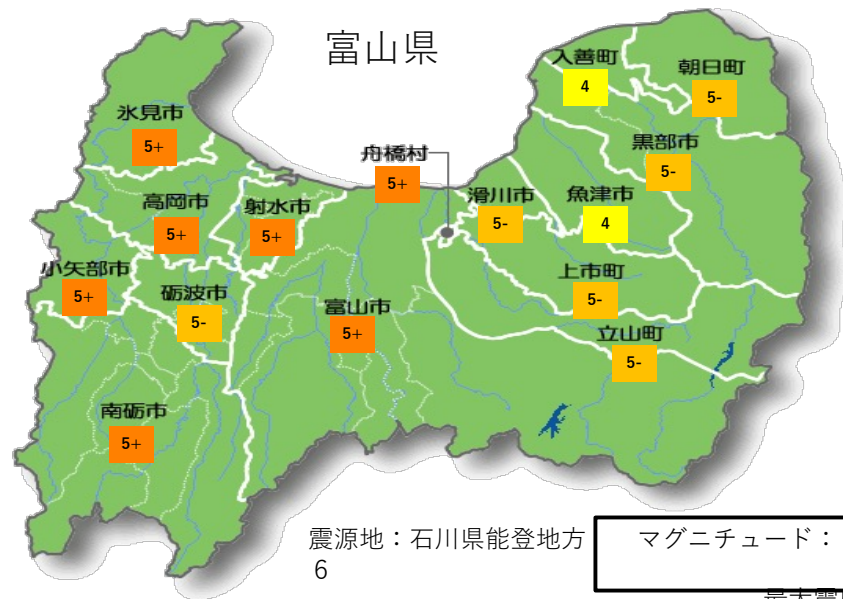
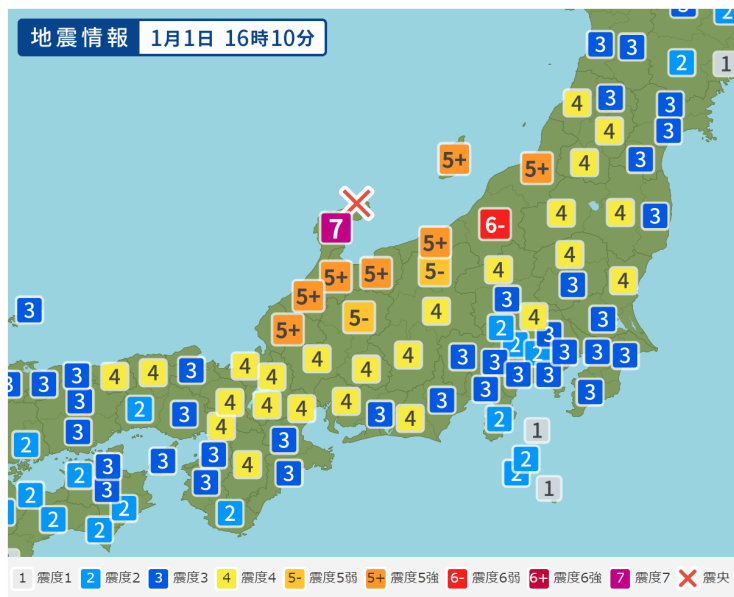
射水市 3,393人

射水市は、市の総人口に占める外国人の割合が県内の自治体の中で最も多く、(3.7%)様々な国籍の方が住んでいます。

R6.1.1現在

令和 6 年能登半島地震

The 2024 Noto Peninsula Earthquake



募集テーマ①

災害時における避難者の情報管理

【射水市の現状】

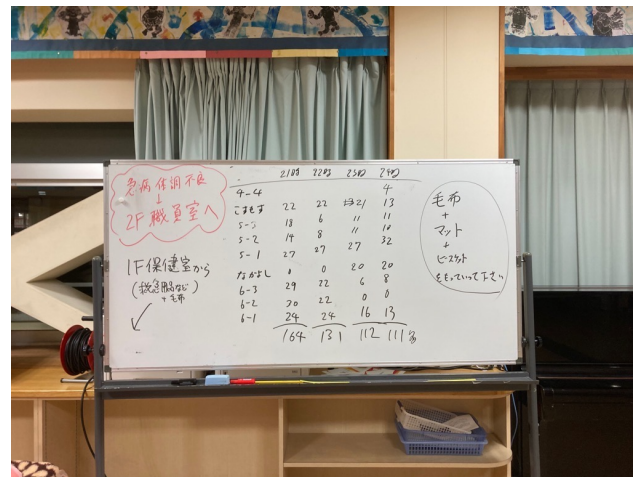
- ① 避難所では、避難者に「避難者名簿」を記入してもらい、人数の把握やサービスの提供を行うことになっている。

入口受付



避難所への入出時、退出時に、紙に氏名等を記入してもらう。

避難所内



定期的に、職員が集計を行い、災害対策本部へ報告→災害対策本部は、エクセルで集計

しかし現実には！ 一気に人が避難所に押し寄せて人数の把握が難しい状況で、想定した管理は2日目以降になった。

【課題】

発災時の避難所において、大勢の避難者に名簿を正確に記入していただくことは難しいため、容易に避難人数や属性情報などが状況把握できる仕組みの構築が必要

避難者数（令和6年能登半島地震）

令和6年1月1日 16時10分 震度5強発生
16時12分 津波警報発表

日時		開設数	避難者数
1月1日	17:00	全ての1次避難所（73箇所）の開設指示	
	21:00	58	約7,400人
	22:45	53	約6,300人
1月2日	7:00	46	1,797人
	10:00	19	157人
	12:00	12	124人
	20:00	12	127人

※射水市では、1月9日19時15分に全ての避難所を閉鎖

避難者把握の課題

- ・受付の正確性（記入漏れ）
- ・属性情報の集計ができない
- ・随時のデータ取得ができない



【募集するプロジェクト】

避難者の情報管理に加え、市民の確実な避難行動の円滑化を図るプロジェクト
（例）マイナンバーカードに加えQRコード等を活用した避難所の受付

【射水市の現状】

②避難所を開設することとなった場合、避難所開設担当職員が施設の担当者に連絡し、施設の担当者が入口カギを解錠することになっている。

しかし現実には！地震発生後、すぐに津波警報が発表されたことから、解錠が間に合わず、実際に新湊地区の小・中学校6校で入口の窓ガラスを割って避難されたケースがあった。



公共施設の場合

- ・ 命を守るため、必要に応じてガラスを割って解錠する。
- ・ ガラスを割る判断は、周りの人と話し合って決める。

【任意課題】

施設の担当者が到着する前に避難して来られた方が円滑に避難できるよう、
カギの解錠方法の検討

例えばスマートロック



- 市内の体育施設（20カ所）にスマートロックを導入しているが、暗証番号を知っているのは、施設利用者のみ。

例えば鍵入れボックス



- 安価な方法として鍵入れボックスの設置等も考えられるが…

避難所施設の解錠の課題

- ・全ての避難所に設置するには高額な経費
- ・緊急時に暗証番号を伝える手段



【募集するプロジェクト（任意）】

避難者の情報管理に加え、市民の確実な避難行動の円滑化を図るプロジェクト
（例）避難所施設内へのスムーズな避難を可能とする入口カギの解錠方法

募集テーマ②

災害備蓄品の管理

【射水市の現状】

- ①各避難所の必要物資は職員がビジネスチャットで連絡し把握している。
- ②災害備蓄品は、各避難所にも一定数配置しているが、
多くは災害備蓄倉庫で管理しているため、職員が倉庫まで取りに行き、
各施設に配送を行っている。
- ③災害備蓄倉庫には、市の備蓄品のほかに県の備蓄品が
保管されている場合があり、職員が県に確認を取って配送することがある。

災害備蓄倉庫（分散管理）

各避難所で備蓄している場所もあるが、
多くは災害備蓄倉庫で管理し必要に応じて職員が配送を行っている。



大門分庁舎



道の駅



旧中伏木小学校

【課題】

- ・災害備蓄品の在庫を確認し、必要物資の把握、物資の配分と配送
- ・警報発表時など職員の安全確保のため運搬できない場合の対策

物資の配付（令和6年能登半島地震）

物品	提供数
毛布	約4,000枚
敷マット	不明
段ボールベッド	46個
水	約1,100ℓ
ビスコ	約9,000食
ブルーシート(大)	65枚
ブルーシート(小)	7枚

物品	提供数
手巻き寿司	9,000個
パン	約410個
ますの押し寿司	200個
水	77ℓ
食料品（ゼリー等）	約60個
土嚢袋	1,981枚

青：市備蓄品 黄：企業からの支援品

災害備蓄品の課題

- ・在庫管理、必要物資の把握、物資の配分、配送
→ 手間と時間がかかっている
- ・道路の状況によっては、車での配送ができない場合がある



【募集するプロジェクト】

災害備蓄品の管理、配分、配送を自動化するプロジェクト

（例）災害備蓄品の自動管理、避難所への災害備蓄品の自動割り振り、避難所へ自動運転車両やドローンを使った安全な物資運搬など



関係人口の創出・繋がりの深化

知事政策局成長戦略室

関係人口の創出 ・ 繋がりの深化

富山県知事政策局成長戦略室



「富山県成長戦略」のポイント

新しい未来と更なる発展に向けて**富山県成長戦略**を策定（令和4年2月）

ウェルビーイングを成長戦略の中核に据える

「ウェルビーイング先進地域、富山」の実現に向けた**好循環**を創出



1.ウェルビーイングの向上

戦略の6本の柱

- ①ウェルビーイング戦略
- ②まちづくり戦略
- ③ブランディング戦略
- ④新産業戦略
- ⑤スタートアップ支援戦略
- ⑥県庁オープン化戦略

2.人材の出入り活性化

3.経済成長

「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

幸せ人口1000万

～ウェルビーイング先進地域、富山～

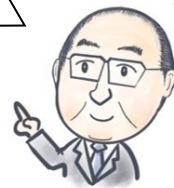
「幸せ人口1000万」

県民約100万人 + 関係人口1000万人

いつまでも「県内人口100万人」という考え方に縛られてはもったいない。そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。

富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など愛着を持って関わるすべての人が、富山県の仲間です。

【成長戦略ビジョンより抜粋】



【知事メッセージ全文】

本県の関係人口

令和4年富山県関係人口推計値：351万3,982人

- 全国アンケート調査を実施し、本県の関係人口を推計
- 調査結果を基に、関係人口の拡大・繋がりへの深化に向けた施策を検討

本県の関係人口の考え方（定義）

- 01 県外に在住し、
- 02 本県と関わる(行動する)者のうち、
- 03 強い関係性をもつ者…他の都道府県でも同様の選択肢がある中で

ボランティア等での地域貢献や、
富山ブランドに惹かれて県産品を
購入、SNS等により本県の情報を
発信している方 など

「あえて富山県」を選択する者で「直近1年間に1回以上の関係を有する者」
及び地縁・血縁者

富山県関係人口の推計値



・第1推計、第2推計の結果を踏まえ、関係人口の定義を確定し、より実態に近く、**実際に活動している関係人口約350万人**と推計（第3推計）

	分類	推計値（人）
訪問系	地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者	240,688
	二拠点労働者（デュアルワーカー）	51,124
	県内イベント等参加者	66,221
	県産品購入者（訪問）	1,031,343
非訪問系	支援者（ふるさと納税、寄付、ファンクラブ、情報発信）	341,128
	県外イベント参加者	336,010
	県産品購入者（非訪問）	925,665
	SNS等での情報取得	55,852
地縁	縁故者、県出身者、県内大学の出身者	465,951
推計値合計		3,513,982

↑ 深い
関係性の度合
↓ 浅い

参考：関係人口の推計～全体の流れ～

1次アンケート、2次アンケート調査に基づいて推計

第1推計 「延べ関係人口を推計」



- ・ 18歳以上の県外在住者にWEBアンケート
本県を除く46都道府県で、各都道府県1000件のサンプル回収
- ・ 本県の関係人口（推計）＝本県の関係人口出現率×各都道府県の実人口

第2推計 「重複を排除した関係人口を推計」



- ・ 1次調査で本県と関わりがあると回答した約8000人に、活動実態や頻度などを調査
- ・ より関係性が強い分類のみでカウントし、重複を除いた関係人口を推計

第3推計 「実際に活動している関係人口を推計」

- ・ 「2回以上の来県者」を関係人口の定義から除く
- ・ 「直近で1年間で1回以上」本県と関係を有した方のみを関係人口として推計

参考：関係人口の分析～関係性の頻度～

- ・ 2 年前まで関わっていた …約200万人
- ・ 3 ～ 4 年前まで関わっていた …約200万人
- ・ 5 年前以前まで関わっていた …約300万人



過去に関わっていた人が毎年関われば、関係人口1000万人

分類	直近 1 年以内 での推計値(人)	直近 2 年以内 での推計値(人)	直近 4 年以内 での推計値(人)	5 年前以前 での推計値(人)
①地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者	240,688	526,271	931,575	1,247,088
②二拠点労働者（デュアルワーカー）	51,124	113,291	153,372	204,496
③県内イベント等参加者	66,221	120,462	205,318	332,769
④支援者	341,128	607,733	838,651	1,049,626
⑤県外イベント参加者	336,010	575,572	930,249	1,555,600
⑥県産品購入者	1,957,008	3,108,847	3,992,296	5,591,451
⑦SNS等での情報取得	55,852	70,475	87,840	101,549
⑧縁故者、県出身者、県内大学の出身者	465,951	465,951	465,951	465,951
推計値合計	3,513,982	5,588,602	7,605,252	10,548,530

+ 約200万人

+ 約200万人

+ 約300万人

課 題

①推計値での把握（実数での増減把握ができていない）

②関係人口の創出・繋がり深化につながる取組みの不足

《主な理由》

- ・ 関係人口と富山県の接点となる**総括的なデジタルツール**がなく、
県の施策を**相互に連携**できていない



誰一人取り残されない情報伝達サービス

滑川市 DX推進課
射水市



募集テーマ④

誰一人取り残されない 情報伝達サービス

滑川市DX推進課
麻柄 浩太

滑川市の概要



【位置・面積】

県中央から北東よりに位置
54.62km²（県内の市で最小）

【人口】

約33,000人（8年連続社会増）

【特産品・観光】

ホタルイカ

滑川市の概要



ほたるいか海上観光

【位置・面積】

県中央から北東よりに位置
54.62km²（県内の市で最小）

【人口】

約33,000人（8年連続社会増）

【特産品・観光】

ホタルイカ

滑川市の概要



【位置・面積】

県中央から北東よりに位置

54.62km²（県内の市で最小）

【人口】

約33,000人（8年連続社会増）

【特産品・観光】

ホタルイカ

DXの取組み

●デジタルで創る持続可能なまちづくり条例（令和6年3月公布）

【目的】

幅広いステークホルダーと連携・協力しながらDXを推進

【基本理念】

誰もがデジタルの恩恵を受け、
誰一人取り残されることなく社会に参画可能な環境の実現

●地域ICTプラットフォーム「結ネット」の普及推進

「結ネット」の特徴

電子回覧板

- 迅速な情報伝達
- いつでも見返せる

町内会役員への負担軽減

- 集計作業不要
- ペーパーレス

災害時の安否確認

- 能登半島地震の際も活用

市からの情報伝達

- 町内会長・会員へ一斉連絡可能



なぜ、滑川市が
結ネットの普及を
推進するのか？

① デジタルデバイド 解消のきっかけに

高い登録率

∴ 市からの情報 < 町内会の情報

② 市と地域住民をつなぐ プラットフォームに

1つのデジタル基盤に発展する可能性

→ 住民ニーズの把握、データ取得、
行政サービス（申請等）のポータル など

「結ネット」導入状況



結ネット説明会の様子

(滑川市内)

19/142 町内会

(富山県内)

13/15 市町村

(全国)

増加中 ↑

課題

- 導入率 → 低水準
- 導入済町内会：紙と併用
→ 大幅な効率化を阻害

要因

デジタル機器を
「持たない・使えない」世帯の存在

提案を期待するサービス

- デジタルを「持たない・使えない」方でも、
円滑に**双方向での情報伝達**が可能なサービス
 - **情報伝達以外にもデジタル技術の恩恵**を受けることで、
ウェルビーイングの向上が図られるサービス
(例) 家族とのコミュニケーション、行政サービス、見守り、買い物支援、遠隔医療など
- ※魅力的な提案であれば、必ずしも結ネットにはこだわらない

fin

魅力的なご提案を
お待ちしております！

募集テーマ④

誰一人取り残されない情報伝達サービス

【射水市の現状】

④災害時の避難情報等は、防災行政無線やエリアメール、市メール配信サービス、市LINE公式アカウント、X（旧ツイッター）、ケーブルテレビ、エフエム等で発信している。

市ホームページに最新情報を掲載



地震に関連するお知らせを市のホームページに掲載し、SNS等を通じて市民に向け発信

SNSによる情報発信（市公式LINEアカウント）



【課題】

- ・ 高齢者や外国人等の情報の入手が難しい人にも確実に伝わる伝達方法の確立

射水市で活用した情報伝達手段

- ・ **防災行政無線**（屋外拡声子局：市内113局）

- ・ 気象状況や場所によっては、内容が聞き取れない
- ・ 発信できる情報量に限りがある



- ・ **市ホームページ**

- ・ エリアメール
- ・ 市メール配信サービス
- ・ 市LINE公式アカウント
- ・ X（旧ツイッター）
- ・ 自治会アプリ（結ネット）
- ・ 射水ケーブルテレビ
- ・ エフエムいみず 等



各地区のコミュニティセンター
へ最新の情報をメールで送付



情報伝達の課題

- ・ 高齢者のみ世帯等への情報伝達
- ・ 外国人に向けた情報伝達
（多言語対応、伝達手段）



【募集するプロジェクト】

スマホ等のデジタル機器を持たない、使えない高齢者等であってもICTツールの利用情報を確認し、回答できるサービスに加え、それ以外の付加価値を備えたサービスを創出するプロジェクト



感染症患者への対応

感染症対策課

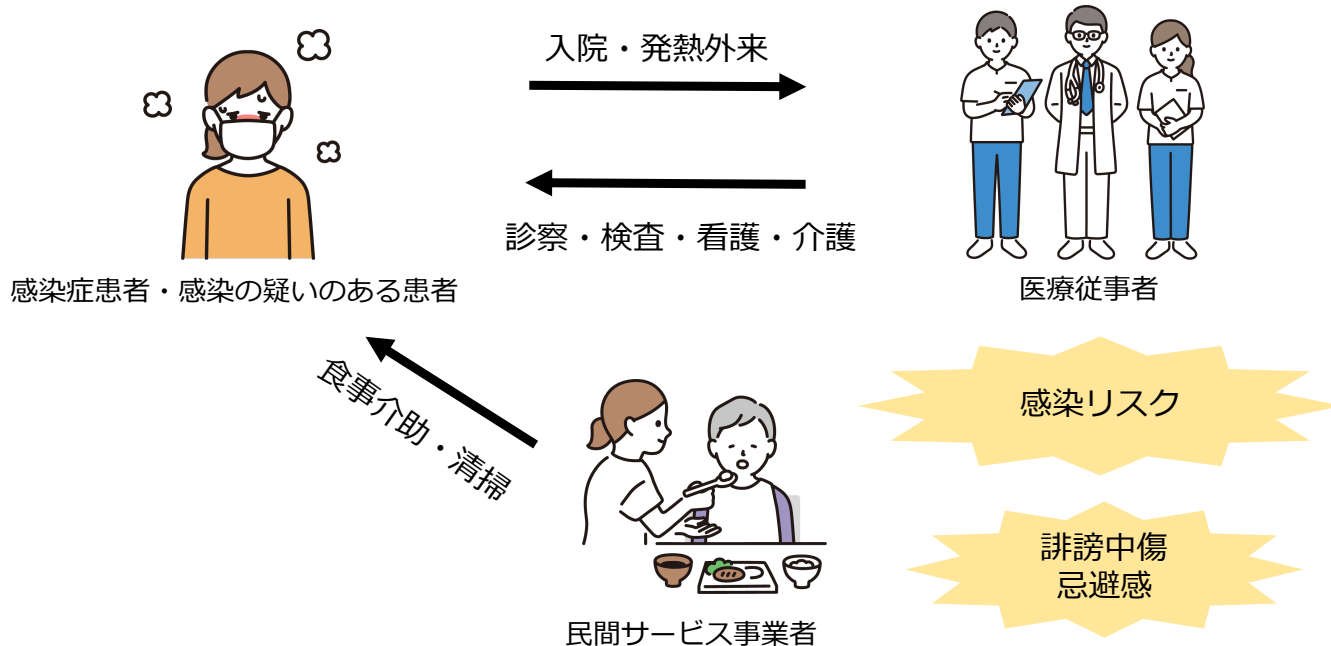
感染症対策課が解決したい課題

未知の感染症が発生した際の
医療従事者や民間サービス事業者が
安心安全に働ける環境の確保



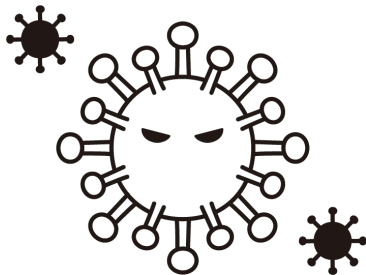
新たな感染症発生時の対応と課題

○隔離が必要な感染症患者・感染症が疑われる患者に対して、医療従事者や民間サービス事業者が、感染リスクを抑えながら患者の診察や検査、看護、介護、食事介助、清掃等を効率よく行うことが課題。



新型コロナ対応の振り返りと課題

①感染症に対する恐れ



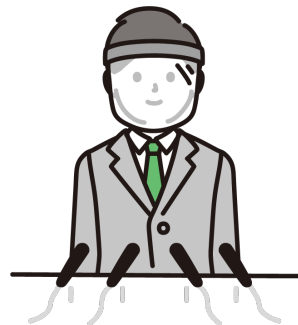
②感染対策の徹底



③医療従事者の負担増



④誹謗中傷への対応



感染症対策課が募集するアイデア

医療従事者の負担軽減につながる感染リスクを低減するツール



想定場所 富山県立中央病院の感染症病床を中心としたフィールド

このような提案を希望します



- ①患者の症状（重症、軽症、無症状）に応じた提案
- ②医療行為以外の、医療従事者や患者目線の環境改善型の提案
- ③感染症発生時以外の平時からも使用できるような提案
（医療情報を扱う場合は、各種ガイドラインを遵守）

全てをデジタルで行うのではなく、医療従事者が患者に対応することを基本に、
デジタルを組み合わせ、医療の補完をして、安全かつ効果的な医療提供を行う



農業の担い手確保

農業経営課

富山県農業の 担い手確保

令和6年5月23日、6月3日
富山県農林水産部農業経営課
経営体支援係 中村一要

1 富山県農業の特徴

項目	規模	全国順位
水田率(R4)	95.3%	1位
農業産出額(R3)	545億円	42位
うち、米の産出額	353億円	14位
うち、園芸の産出額	86億円	47位
集落営農法人数(R3)	458経営体	1位

米が
65%

集落単位で米作りが多い

→ 米に特化した農業構造

2 本県の担い手育成の主な課題と方向性

1) 目的：本県農業が持続的に発展するため

2) 主な課題と方向性

課題 1： 米中心の農業構造下での米需要の減退への対応

【方向性①】

- ・ 水田での園芸作物振興による収益力向上
 - ・ 高品質な米生産・販売力強化
- 経営の効率化・安定化

課題 2：農業就業人口の急激な減少、 高齢化への対応

【方向性②】

- ・ 地域の受入体制づくり
地域ぐるみでの人材獲得
- ・ 担い手や人材の教育・研修等
の未来への投資

→ 米以外の魅力開発と発信
による新規就農者の獲得

- ・ 農業従事者は、減少
- ・ 農業就業者の平均年齢が全国より高い
(富山県 71.3歳、全国 67.8歳)

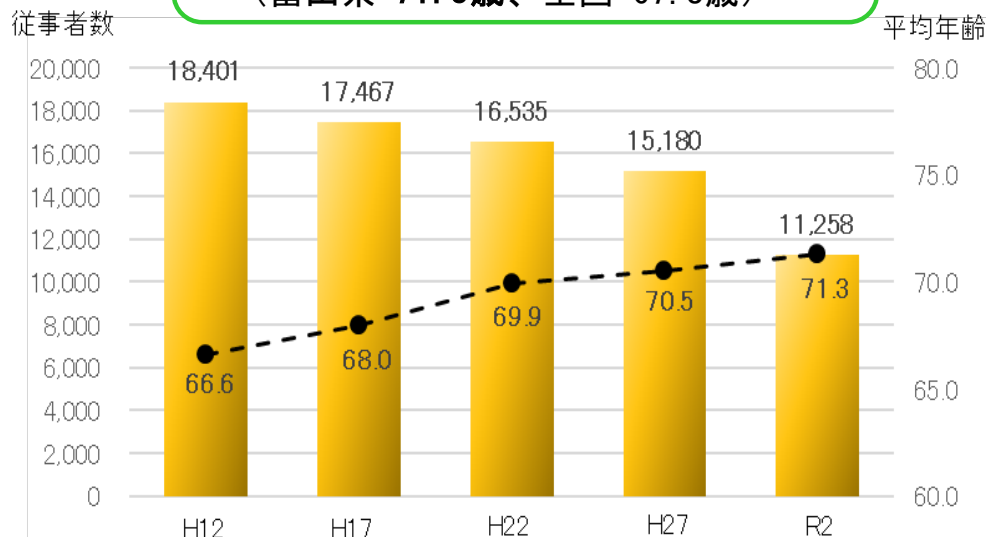


図 富山県における基幹的農業従事者数と農業就業者の平均年齢の推移

(出典：農林水産省「農林業センサス」)

※基幹的農業従事者（ふだん仕事として主に自営農業に従事している世帯員）

3 担い手の確保に向けて

1) 経営の効率化・安定化

64%が後継者を確保していない

集落営農法人や新規設

立法人が園芸(野菜、

花き、果樹) に取組み、

利益を確保して、

雇用できる経営体とし

て後継者等を獲得し、

経営を継続したい

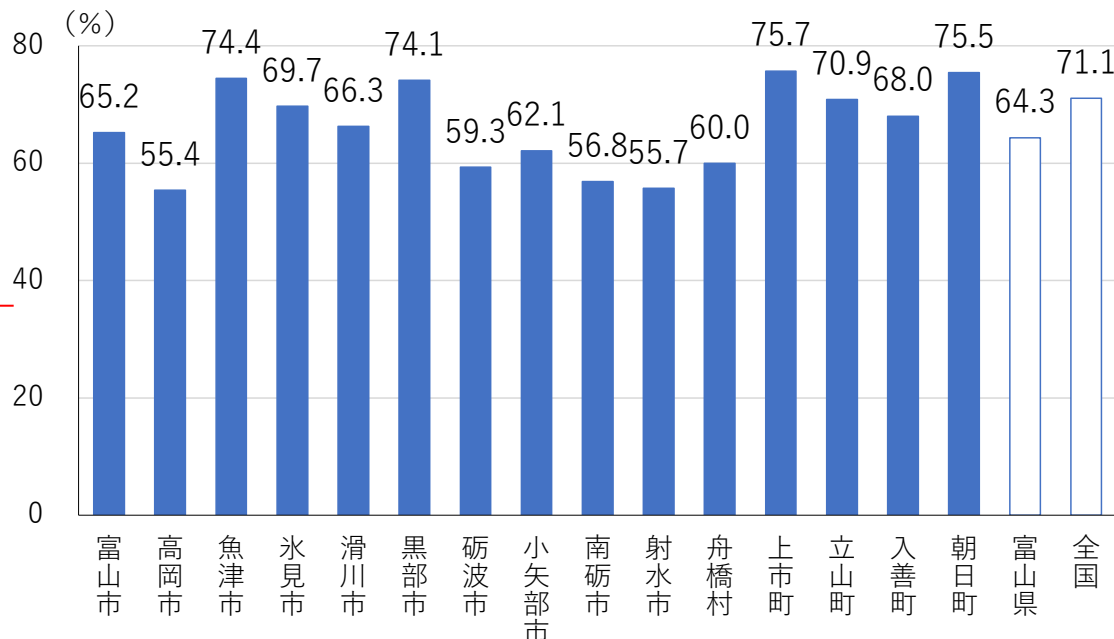


図 県内市町村別の「後継者を確保していない」状況
(農林水産省 (2020) 「農林業センサス」 から作図)

2) 米以外の魅力開発と発信

職業として、富山県農業
が選ばれるように、

米以外の魅力開発と発信

により、

就農希望者を獲得したい

- ・新規就農者数は、近年、年間60人～80人で推移
- ・就農形態は、従業員などの「雇用就農」が7割

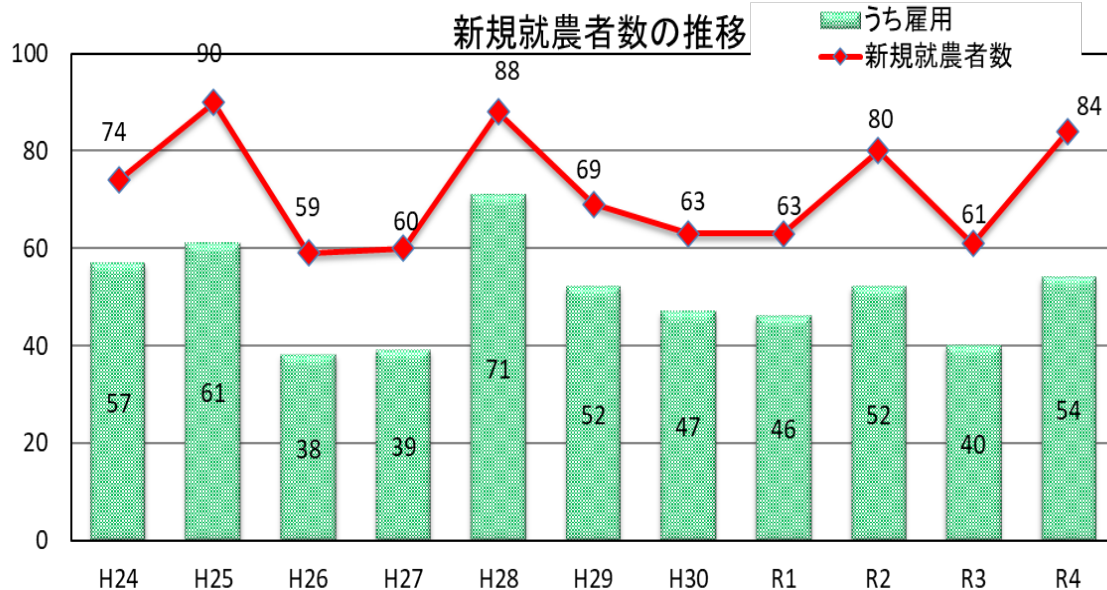


図 富山県の新規就農者数の推移
(県農業経営課調べ)

3) 就農希望者と求人する経営体の情報収集とマッチング

県内機関での情報の共有化と、そもそも少ない情報量を向上させ、集めた情報をマッチングできるシステムを構築したい

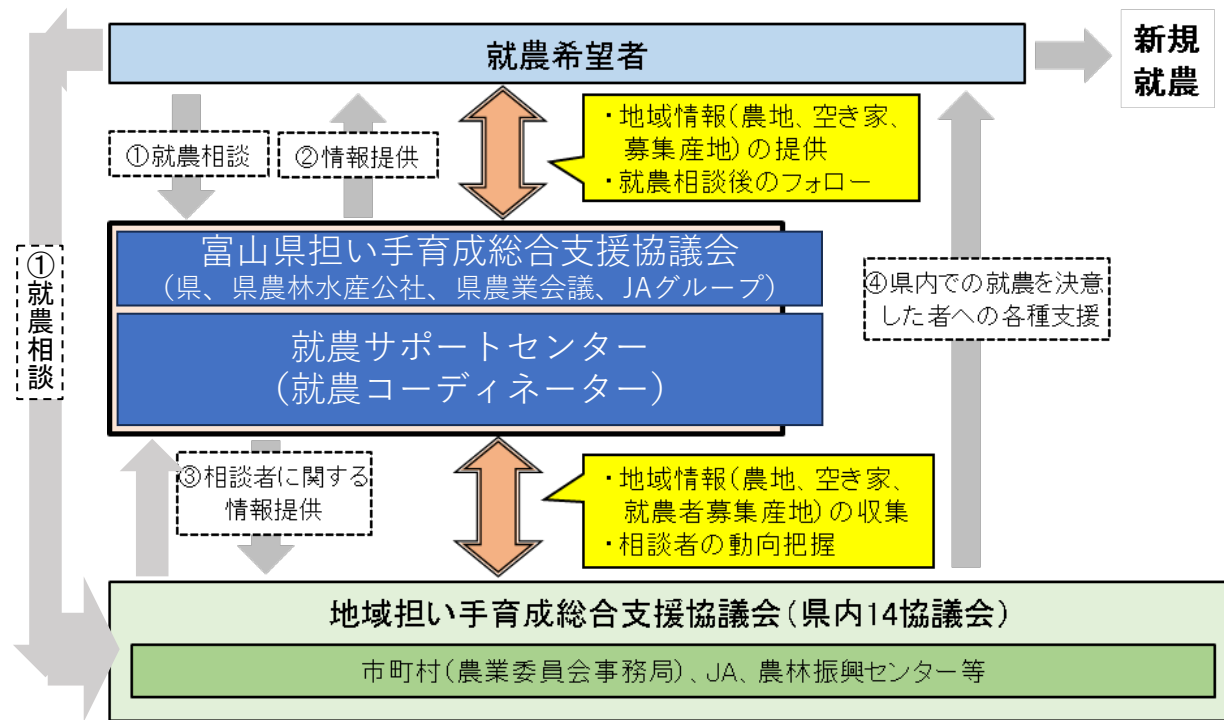


図 関係機関で就農に関する情報を共有するイメージ

4 最後に（目標）

項目	現状値(R3)	目標(R13)
農業産出額	545億円	700億円
うち、園芸産出額	86億円	140億円
新規就農者数	61人	120人以上/年
法人経営体数	780経営体	880経営体
うち、集落営農法人数	458経営体	490経営体

皆さんと連携して課題を解決したく、よろしくお願いします。



「寿司といえば、富山」ブランディング ブランディング推進課

テーマ7 「寿司といえば、富山」ブランディング

広報・ブランディング推進室
ブランディング推進課
柴田 真季

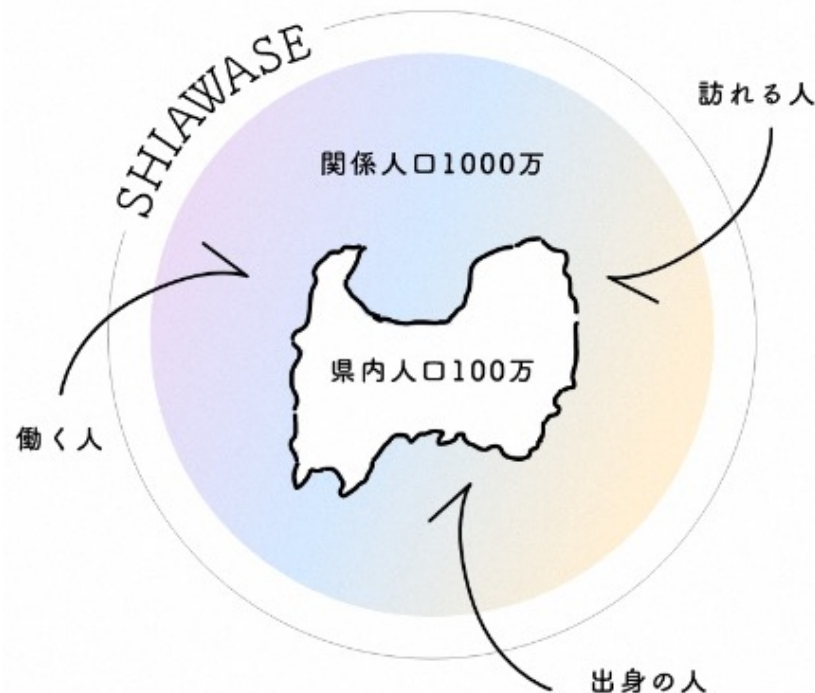
富山県成長戦略の掲げるビジョン

幸せ人口1000万

～ウェルビーイング先進地域、富山～

富山で暮らす人、仕事する人、
よく訪れる人、生まれ育った人など
愛着を持って関わる全ての人が、富山の仲間。

県内人口に縛られず、皆さんと共に、
幸せという大きな傘のもと、
「幸せの関係人口1000万人」を目指していく。



ブランディング推進課

- 「幸せ人口1000万」の創出に向け、庁内横断的にブランディングを推進する組織として、R5.4に新設。
- 効果的、戦略的な広報・ブランディング方法の検討
 - ・富山の強みを活かした「〇〇といえば、富山」の統一的イメージ形成
 - ・受け手に届く情報発信、富山の認知度向上のため民間ノウハウを活用し、ルールや実施方法を検討

富山県の現在地

●富山県の魅力度・認知度 ⇒ 中位、具体的なイメージが湧きにくい

✓ 都道府県魅力度ランキング（地域ブランド調査2023）

1位：北海道、2位：京都府、3位：沖縄県、4位：東京都、5位：大阪府 … 22位：富山県

✓ 訪日外国人都道府県別認知度ランキング（JTB訪日重点15か国調査2019）

1位：東京都、2位：大阪府、3位：北海道、4位：京都府、5位：沖縄県 … 22位：富山県

「寿司といえば、富山」ブランディングの目的

寿司をキーワードとして本県の認知度を高め、関係人口の創出・拡大により、地域産業を活性化し、地域への自信や誇りを醸成する。

【展開イメージ】



「寿司」で
一体的に推進

富山県が寿司に焦点を当てる理由

○雄大な自然などの富山の強みが生かせる分野

○県民にとって当たり前の日常の暮らしや

地域文化の入口として分かりやすい素材

○世界的な潮流にも合致

寿司(すし)



富山ならではの食の強み

標高差 4,000m が生み出す
多彩なめぐみ



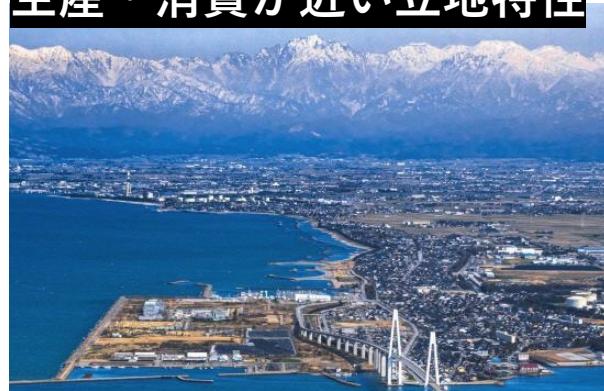
自然と歴史が生んだ特有な
食文化



富山湾特有の豊かな魚種



生産・消費が近い立地特性



デジブックで課題解決したいこと

●旅行後の来訪者の満足度調査（出典：じゃらん宿泊旅行調査2023）

✓ 「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」と回答した割合 全国3位

✓ 宿泊者の現地での追加消費額 全国33位

⇒食の魅力が観光消費額に結びついていない。

駅周辺で満足してしまい、街への周遊に結びついていない可能性がある。

デジブックで課題解決したいこと

●描きたい方向性

魅力的な場所・モノ等への入口となる県内各地の寿司店と観光客をつなげたい。

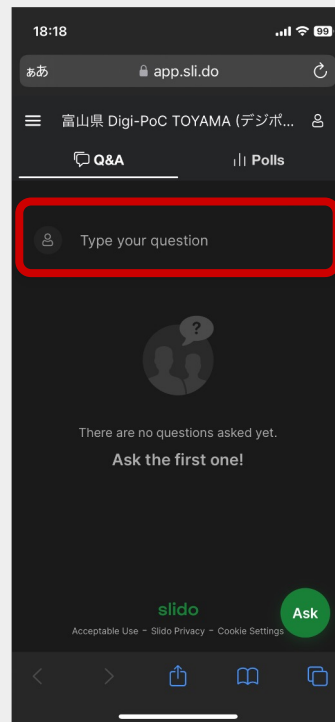
(既存サービスでの課題)

- ・ 駅や空港にある寿司店以外を知るきっかけがない
- ・ 既存サービスでは自分の好みに合った寿司店が不安
- ・ 予約をしておらず、今から入れるのか電話をかけないとわからない



Q&A

本日の説明会では、質問はSlidoで受付します。
QRコードから登録不要で質問可能ですので、ぜひご利用下さい。



質問をご記載下さい。



閉会挨拶

本日の説明会のアンケートについてご回答お願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfwo4Vch97wVWe160dNLfO2XoW0OrEokMEalHVe1Q8pvVK5yQ/viewform>

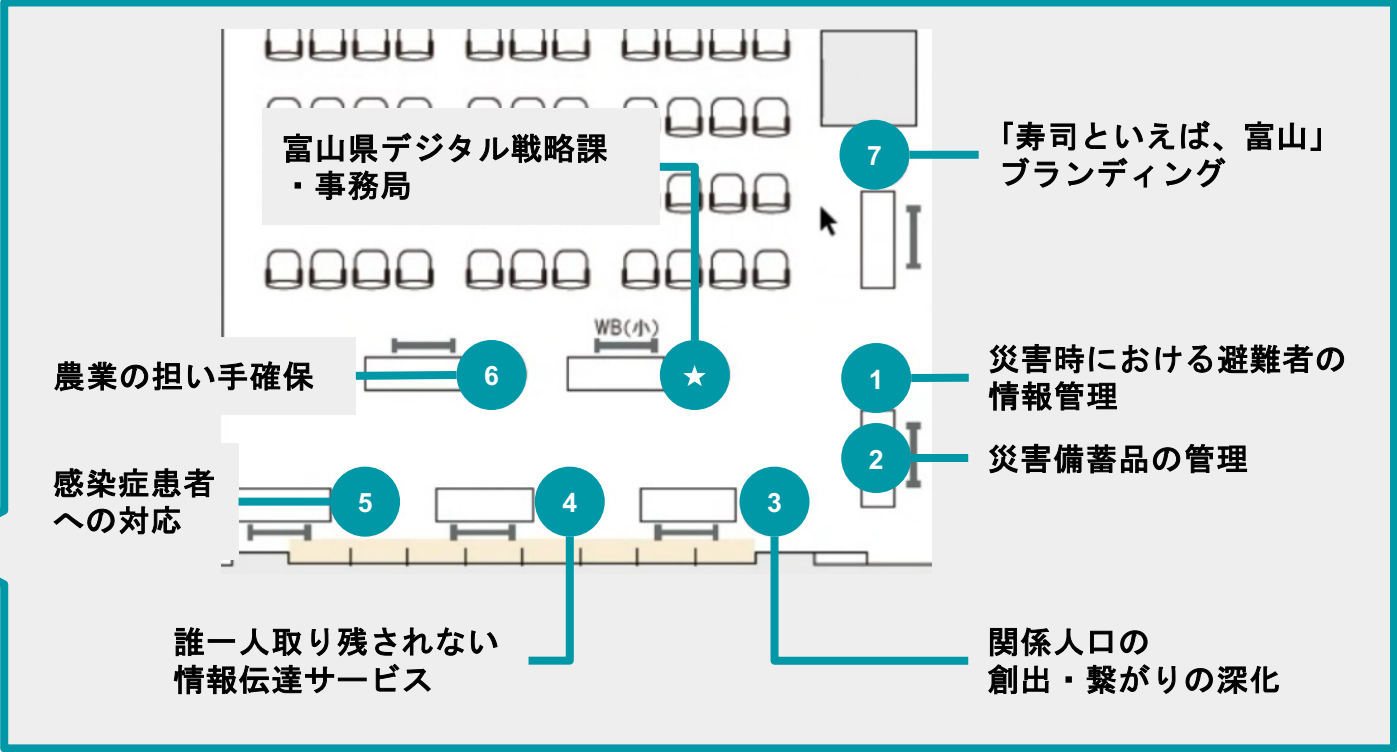
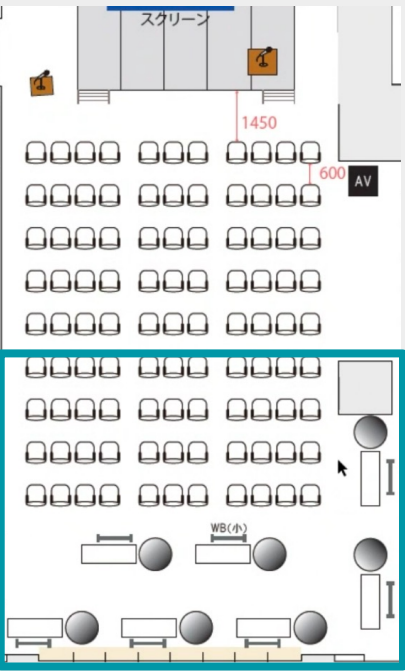




県・市職員とのミートアップ



7つのテーマそれぞれごとにブースを設置しております。
是非、ご興味のあるブースへお立ち寄り頂きコミュニケーションを実施頂ければと存じます。





【デジタルトヨヤマ】
Digi-PoC **TOYAMA**
ウェルビーイングな世界を切り拓く